

# 自然 放 射 線

ブラジル・ガラバリの放射線  
(年間・大地などから)



1人あたりの自然放射線  
(年間)(世界平均)

宇宙から 0.38  
大地から 0.48  
食物から 0.24

空気中のラドンなどから 1.30



国内の自然放射線の差  
(年間)(県別平均値の差の最大)

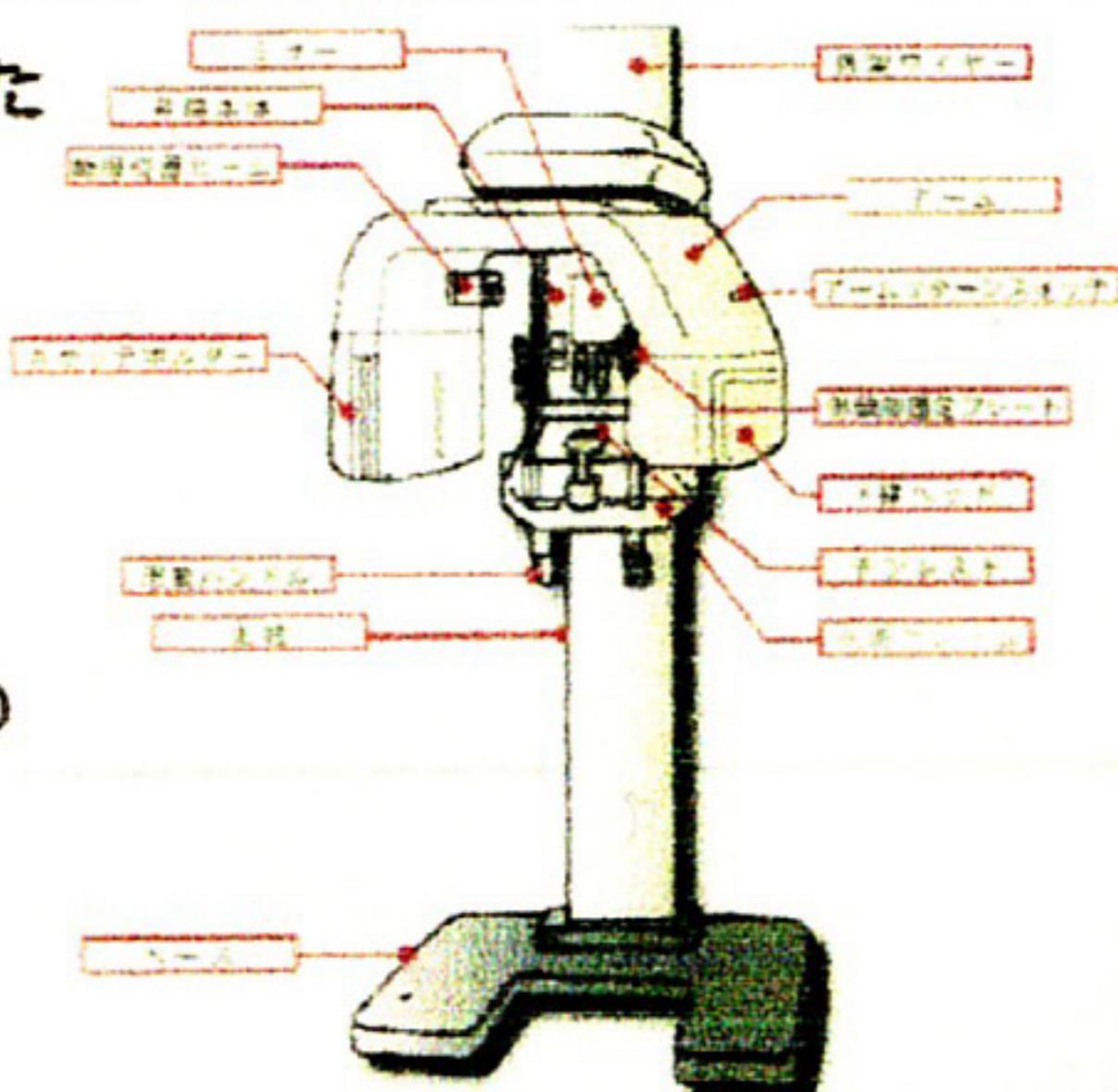
岐阜 ← 神奈川

東京・ニューヨーク航空機旅行  
(往復)(高度による宇宙線の増加)

従来の歯科用X線レントゲン

# 当院のX線レントゲン(1回)

日本で初めて直流方式を採用した  
パノラマX線撮影装置  
「ペラビューエボックス」。  
従来16秒の撮影時間を  
半分の8秒で撮影ができる  
ハイスピード撮影機能などにより  
照射線量が従来の1/10に  
軽減されています。



# 実効線量 (ミリシーベルト)

## 身の回りの放射線

10.0

6.9

2.4

1.0

0.6

0.5

0.4

0.19

0.05

0.03

0.005

0.003

# 人工 放 射 線

胸部X線コンピュータ  
断層撮影検査  
(CTスキャン)(1回・日本)



一般公衆の線量限度  
(年間)(医療被爆は除く)

胃のX線集団検診(1回)

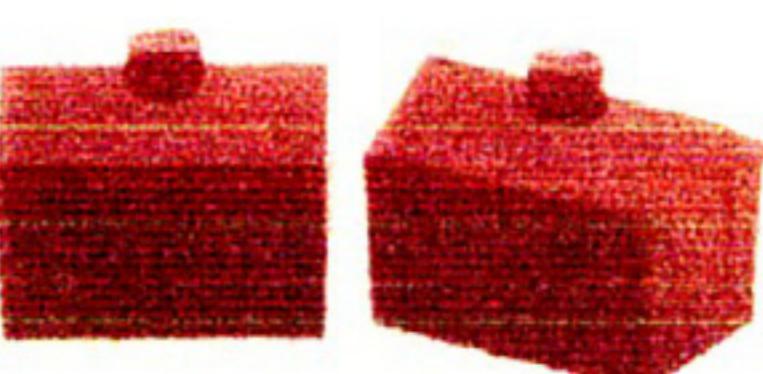
原子力緊急事態となるケース  
(1時間あたり)(事務所境界で検出した場合)



胸のX線集団検診(1回)

軽水型原子力発電所周辺の  
線量目標値

(年間)(実績は0.001ミリシーベルト以下)



異常が発生し原子力事業者が  
通報しなければならないレベル  
(1時間あたり)(事業所境界で検出した場合)

